

## 新施設へのご寄付をお願いいたします

令和3年4月、多機能型障害福祉サービス事業所アール・ド・ヴィーヴルを開所いたします。現在、就労支援B型事業所に通所されている皆さんに加え、来年度、重度障害のある方々をお迎えるための仕事場、**アトリエとギャラリーカフェを小田原市久野に建設中**です。資金面ではまだまだ頑張らなければならない船出ではありますが、どんな障害がある方でも通え、新たな可能性を見つけて自己実現できる場を作ることはアールのミッション。どうぞみなさまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



2020年8月29日 地鎮祭にて

クラウドファンディング 2020年12月1日スタート

詳しくはホームページ&Facebookで！

お問い合わせ

アール・ド・ヴィーヴル萩原まで  
0465-25-4534 (電話・FAX) info@artdevivre-odawara.jp

利用者さん・スタッフを募集します

募集内容など  
詳しくはホームページへ



## 賛助会員へのご入会・継続をお願いします

NPO法人アール・ド・ヴィーヴルは、障がいのある人たちに「自分らしく生きる」場を提供し、社会参加を応援しています。そして彼らの社会的自立のため、活動による収入を得ることを目指しています。

健全者も障がい者もなく地域で共に生き、ひとりの人間として自分らしく自信を持って生きるきっかけを作ることをめざし私たちは活動しています。

この活動は、個人・団体・企業のご寄付と、会員の年会費、団体・企業による助成金で運営されています。

おひとりでも多くの方にアール・ド・ヴィーヴルの趣旨へのご理解とご賛同をいただけますよう心よりお願い申し上げます。

賛助会員申込書ダウンロードリンク：<http://artdevivre-odawara.jp/supporter/>  
賛助会員（年間）個人 一口5,000円：団体・法人 一口10,000円（ともに一口以上）

よろしくおねがいします！



## 助成・ご寄付の御礼

赤い羽根共同募金さまより 車椅子専用車両の助成

かながわ生き活き市民基金さまより「新型コロナ対応 緊急応援助成」（オンラインワークショップ）

独立行政法人福祉医療機構（WAM）さまより（重度障害者の芸術活動の推進と支援者育成）

ありがとうございました！！



## ご支援、ご協力、ありがとうございました。

- 賛助会員(個人)50名
- 法人会員(45社) (株)アークル / アシストクルー(株) / izumi ジュエリーシマン / (株)ういろう / (株)エスアールシー / 岡宮産婦人科医院 / (株)小田原百貨店 / 小田原瓦斯(株) / (株)海風屋 / (株)クニヨシ / (合)クラテリス / 医療法人けやき会 安間医院 / (社福) 県西福祉会 / さがみ信用金庫 / (合)Sasaki Family Company / サンネット(株) / 正庵 / (株)湘南クロス / 杉崎茂法律事務所 / 鈴廣かまぼこ(株) / 西湘ビルメンテナンス協同組合 / (株)セトプリント / 相洋産業(株) / 菅根歯科医院 / (株)ティー・アイ・シーミウラ / (株)T-FORESTRY / (株)東海ビルメンテナンス / 中川食肉(株) / ニュートヨオート (株) / ハートコンサルティング / (有)花のクワン / (株)濱田屋 / ヒューマンズ・ネット(株) / 医療法人社団平原眼科クリニック / 株式会社 古川 / フロンティア1(株) / 医療法人鷗友会白鷗医院 / (株)MAA / 株式会社まるだいい運輸倉庫 / 万葉倶楽部(株) / (株)ミニ小田原事業所 / (株)ミタニ / (有)みのさんファーム / 医療法人山田クリニック / 医療法人横田小児科医院 (敬称略)
- ご寄付(個人)31名
- ご寄付(法人)AOI(株) / あだち環境経営研究所 / 天野理容館 / (株)ういろう / (株)エスアールシー / 岡宮産婦人科医院 / 有限会社小田原ドライビングスクール / (株)小田原百貨店 / 医療法人けやき会 / / サンネット(株) / 湘南電力(株) / 杉崎法律事務所 / (株)天成園 / とうふ屋久保寺 もくようかん / 中川食肉(株) / ニュートヨオート(株) / Hamee (株) / (株)まるだいい運輸倉庫 / 万葉倶楽部(株) / 南開工業(株) / (有)みのさんファーム

## NPO 法人 アール・ド・ヴィーヴル

■理事 / 萩原美由紀 / 横田俊一郎 / 杉崎 茂 / 中津川浩章 / 蓑宮武夫 / 鈴木博品 / 平井巳和子 / 牛山恵子 / ケリー佳枝 / 柴田和生 / 高橋剛司

■監事 / 小室全由 / 山崎明子

■正会員(44名) 萩原美由紀 / 秋鹿浩史 / 秋鹿明子 / 江澤良江 / ケリー佳枝 / 杉崎 茂 / 中津川浩章 / 中山貴子 / 平井巳和子 / 横田俊一郎 / 牛山 恵子 / 國兼由美子 / 渡邊礼子 / 川口圭子 / 蘆田浩子 / 塚本やよい / 山田浩子 / 門田美恵子 / 阿部まゆみ / 常盤さき子 / 山崎明子 / 中清水弘子 / 八木美紀 / 佐藤和美 / 藤田典子 / 藤原明子 / 北村久美 / 飯塚智子 / 高橋久美子 / 齋藤智子 / 蓑宮武夫 / 柴田和生 / 町田義三 / 中谷徳宏 / 鈴木幸恵 / 青木俊子 / 石垣由加理 / 待寺 幸 / 鈴木 博品 / 赤石 茶里 / 吉本麗智子 / 近藤孫範 / 小室全由 / 高橋剛司

〒250-0055 神奈川県小田原市久野 906 アネシスヒルズ 102

■ TEL・FAX : 0465-25-4534 ■ Email : info@artdevivre-odawara.jp ■ Web : http://artdevivre-odawara.jp

art de vivre NEWS LETTER 7号 : 発行・編集 : 認定 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル 2020年11月24日発行

ページ内の作品 : アール・ド・ヴィーヴルのメンバー



# Vol.7 art de vivre

# NEWS LETTER

アール・ド・ヴィーヴル展 in 奥津国道美術館 2020年9月26日～11月30日

## 新 型コロナウイルス感染拡大による自粛が騒がれはじめた2月。

国からの報道により、メンバーたちがパニックになり、利用のキャンセルが相次いだ。電車やバスに乗るのが怖い、感染したら家族に迷惑がかかる、とさまざまな声が届く。

厚労省は、障害者の日常生活を保障する福祉施設は、コロナ禍でも開所することを要請。消毒、換気、三密を禁じながらメンバーを迎える日々、支援員らの緊張がピークに達し、心も体も疲弊する中で知恵をしばった「在宅支援」が県に認可されました。

これが当たり前。外出できなくなった人たちは自宅で創作やグッズ制作を自主的に仕事を進めてくれ、終業時間には自ら電話をかけてくる人も。アトリエでのルーティンワークがしっかりと身につけていたのです。12時になると自分からお昼食べます！と宣言して一人で食事を始め、ご家族から、アールでの日常がよくわかりましたと嬉しい報告も。一日に二回、支援員と電話でつながるお喋りの声弾んでいました。よろこびと同時に、在宅ワークが出来ることで、アトリエは要らなくなってしまうのかもしれない、とよぎった不安。でも、自宅で一人は飽きた、やっぱりみんなと一緒に笑い合いながら仕事したいと、現在徐々にメンバーが戻ってきています。

秦野で展覧会のオファーをいただき、先日、久しぶりにメンバーたちと一緒に展覧会場に外出しました。作品がスポットライトを浴びているのを見て、みんなとても嬉しそうなお顔。やっぱりこの笑顔がある場所がアールなのだなど改めて実感しました。

現在私たちは新事業所の設立準備を進めています。笑顔が絶えることのない場になることを目指して全力疾走中。応援、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

理事長・萩原美由紀



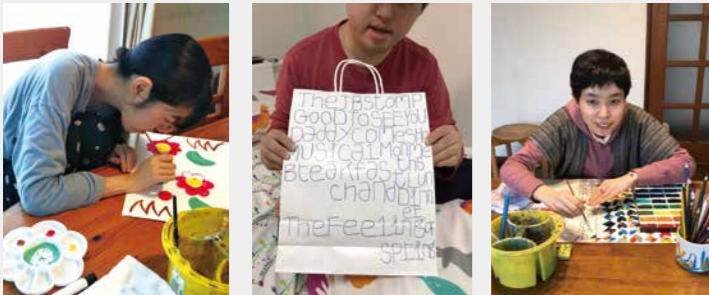
## 2020年4月22日 認定 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴルとなりました。

「広く一般から支持を受けているか/その活動や組織運営が適正におこなわれているか/より多くの情報公開が行われているか」等の審査を通過して認定 NPO 法人に認定いただけたことがとてもうれしく、身が引き締まる思いです。

今後、アール・ド・ヴィーヴルにお寄せいただいたご寄付は、確定申告をしていただくことで個人・法人共に税金控除対象となります。どうぞよろしくお願いいたします！

## 就労支援 B 型事業所 コロナ禍のアール・ド・ヴィーヴル

2020年2月27日、安倍首相より全国すべての小中高校に臨時休校が要請。「不要不急の外出」への自粛要請、そして4月7日に緊急事態宣言。来所できない人が増え、アトリエは閑散とし、スタッフの方が多くなる日も。メンバーの生活が見えなくなり連絡が途絶えてしまうことを危惧し、県に支援対策を相談した結果、利用者への在宅支援を行うことが認められました。直ぐさま準備を進め4月13日から在宅ワークの希望者とアトリエ通所希望者を振り分けて、分散支援がスタート。アトリエでは、午前午後に分かれて時間差で利用いただき、創作する人と農園へ行く人を分けて活動。給食は席を離して、全員南に向かって座り昼食をとるなど、三密を防ぐ対策を講じて活動してきました。4月15日には、東ちづるさんが代表をなさっている Get in touch、さつき株式会社さんのご好意でご寄付いただいたマスクが事業所に届きました。



在宅チームは保護者のみなさまのご協力の元、ご自宅へ画材やイージー、織り機など運び込みました。それぞれが自宅で制作や作業をスタート。「コロナ予防のため外出を控えていたので、アトリエでの作業が家でできることをとても喜んでいました。」メッセージとともに、作品や制作風景の写真が(時には動画も)届き始め、いつもの笑顔がみられるとスタッフは心からほっとしました。インターネットがある時代でほんとうによかった！

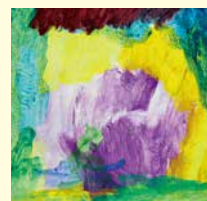


11月現在、アトリエには、9割のメンバーが来所できるようになり、検温、消毒、パーティションのルールを守りながら、活動しています。健康上の理由などで公共交通手段を避けたいメンバーのために、小田原駅までの送迎車を日に3回、という新しいルーティーンが加わりました。自己選択は自立の第一歩。コロナ禍に巻き込まれるまでは、公共交通手段を使つての通所は、生活力を育てる、という観点で必要なことでした。しかし、この環境下、アトリエでの支援を安全且つスムーズに受けていただくことを最優先に考えています。現在は経費を賄う背景はないため、ボランティアでの活動となっています。



コロナ禍で小田原にいる時間が増えたので2020年7月より、就労 B 型での活動にも参加しました。いつものワークショップはアートの価値観を大切にサポートしていますが、就労 B 型は基本的には福祉事務所、少しだけ異なったアプローチを心掛けました。利用者さんがどんな現実の中で生きているのか、作品だけでなく、実際に本人と話すことでより多くのものが見えてきます。接していると作品の傾向や内容はもちろんですが、その人そのものにより興味がわいてきます。そして形式の変化や内容の深まりが利用者さんに対する支援に深く関係していることが改めてわかってきます。作品に対する評価や感想は変わらないけれど、より深く作品について考えることができました。きっとこのことが次の活動につながっていくことになると思います。

アートディレクター 中津川浩章



### 展覧会を開催しました！

modern湯治 おんりーゆー(南足柄) 2020年4月1日~4月30日  
アール・ド・ヴィーヴル展 and garden(町立湯河原美術館併設) 2020年6月20日~8月21日  
アール・ド・ヴィーヴル展 in 奥津国道美術館 2020年9月26日~11月30日



and garden(湯河原町)

## ワークショップ



### オンラインアートワークショップ

<http://artdevivre-odawara.jp/artwork/onlinews202006/>



第1回 WS



第2回 WS

オンライン展覧会は  
こちらから



2020年2月、8年の間毎月2回続けてきたアートワークショップも休止に追い込まれる事態に。ワークショップは絵を描き表現する場所であると同時に、メンバーや保護者の方々のコミュニケーションの場でもあります。休止を長引かせたくない...そこで立ち上げたのがFacebookを活用したオンラインワークショップでした。始めた途端、メンバーから作品が次々に集まってきます。作品は真っ直ぐなエネルギーに満ちていました。半年間の期間中、2回、アールのホームページ上で展覧会も開催しました。メンバーがステイホーム中に制作した力作。上記 URL、QRコードから、ぜひご覧ください。この企画は「かながわ生き生き市民基金」さまに助成いただくことで実現しました。心より御礼申し上げます。

アトリエでの「リアル」ワークショップは7月のアートワークショップを皮切りに再開しました。密を避ける配慮をしながらではありますが、やはりみんなで集まり、ファシリテーションに耳を傾け、他の人の気配を感じながら笑い合っ過ごす時間はなにもものにも替えがたい。その大切さを今、再認識しています。

【開催回数】2020年1月~2019年11月まで  
アート:8回/45名 英語:8回/30名  
ヨガ:11回/35名  
織り:6回/6名 料理:1回/7名

### アートワークショップ (中津川浩章アートディレクター)



### 織りワークショップ



### JOYJOY English (Joe Kelley 先生)



### お料理ラボ (なかつがわまきこ先生)

### おやこでヨガ (YURIKO 先生)



コロナ禍の中、ヨガはオンライン開催となりました。直接会う機会は減りましたが、お互いを思いやれば気持ちは通じ合えるんじゃないかと思えます。みんなの笑顔や元気な声を聞くだけで、心がほっこりと癒されています。みんな何年もヨガをしているので、ポーズがかなり上達しています! (おやこでヨガ YURIKO 先生)



## 重度障害者による芸術活動の推進と支援者の育成事業 重度障害がある人のための創作活動のために

2019年度、福祉医療機構(WAM)「地域連携助成団体」として採択いただいた「重度障害者のためのワークショップと展覧会」「アウトリーチ事業」「施設視察研修」「コンセプトブック編集」は無事終了し、成果報告書を提出することで完了しました。ホームページに全文を掲載いたしましたのでぜひご覧ください。

自分らしく生きる アール・ド・ヴィーヴル コンセプトブック  
<http://artdevivre-odawara.jp/conceptbook2020/>  
「重度障害者のための創作活動と地域支援者育成事業 成果報告書」  
<http://artdevivre-odawara.jp/wamreport2019/>



コンセプトブック



成果報告書

2020年度も引き続き事業の採択をいただき、重度障害のある方向けのワークショップ、先進施設への取材レポート、勉強会などの事業を進めています。詳細はホームページ・Facebook等で報告いたします。

